

[ 表 編 ]

# 1. 令和5年産麦の状況

## 1. 作柄概況

播種は大麦で10月下旬、小麦で11月上旬から始まりました。播種期は天候に恵まれ、作業は順調に進み、出芽・苗立ちは良好でした。

1月下旬まで気温が高めに推移したため、生育は平年より早く進みました。1月下旬は気温が低下したため生育が一時鈍化しましたが、以降は気温が平年より高く推移したため生育が早く進みました。

11月上旬播種の小麦で出穂は3月下旬、開花は4月上旬から始まり、平年に比べて7～10日程度早くなりました。開花が始まった4月上旬頃は降雨があり、気温も高めに推移しましたが、赤かび病の適期防除や複数回防除が実施され、発生程度は平年並となりました。

収穫は大麦で5月2日頃、小麦で5月25日頃から始まりました。平年より早い梅雨入り（5月29日）となりましたが、雨間を逃さず収穫が進められたため、伊勢平坦地域では平年並の時期に収穫作業を終えました。一方、伊賀地域では収穫期が梅雨時期と重なったため、刈り遅れが見受けられました。

## 2. 病害虫・障害等の発生概況

### (1) 湿害

3月中旬から収穫期にかけて雨の日が多くなりました。排水対策が不十分で長期間滞水したほ場では、湿害による登熟不良などが見受けられました。

### (2) ムギ赤かび病

ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があつて気温が20～27℃の時に感染が激しくなります。今年産麦の開花は4月上旬頃から始まりましたが、この時期は降雨日が多く、気温も高めに推移したためムギ赤かび病の発生が見られました。

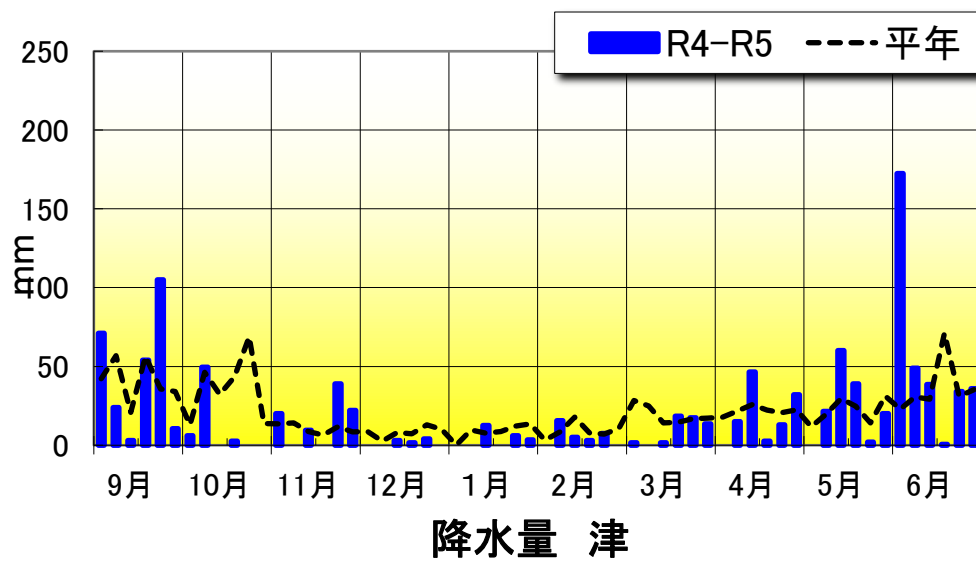
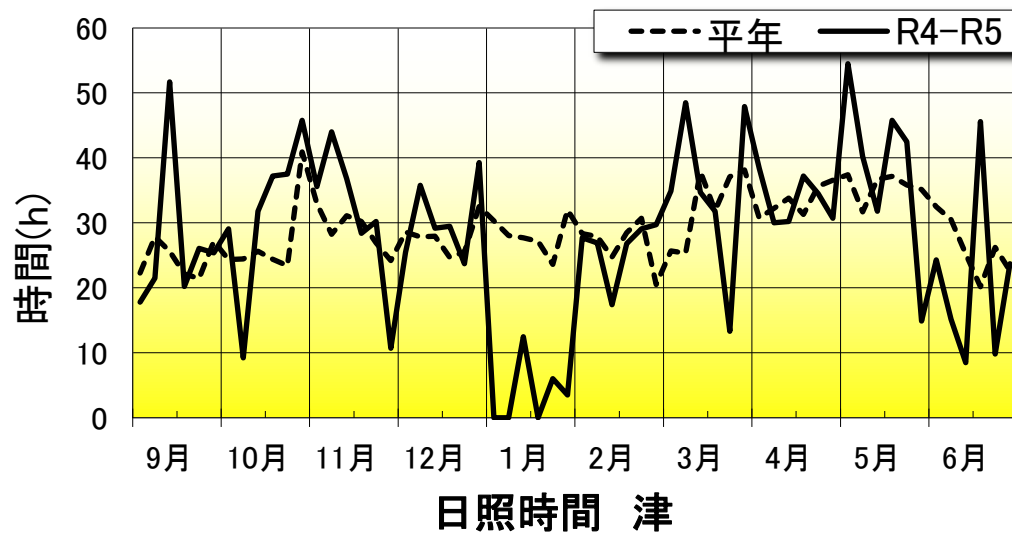
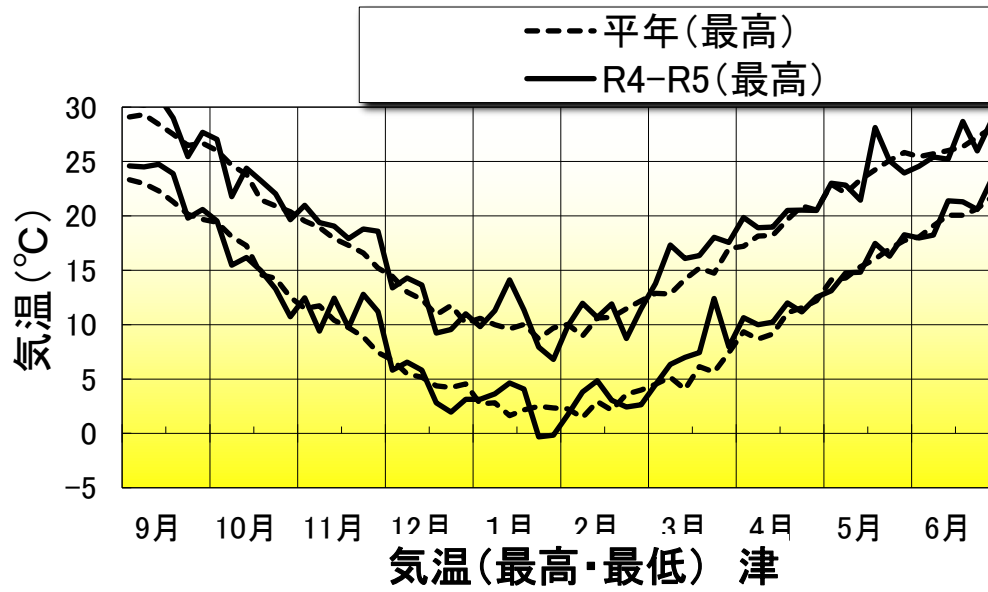
## 3. 県内単収の推移

令和5年産麦収穫量は23,419t（等級麦のみ。屑麦などの規格外約2,414tは除く）を、単収は300kg/10aを上回りました。単収は、6年連続で300kg/10aをおおむね超えており、収量を安定して確保できるようになってきています（図1）。

（図1）H27～R5の県内小麦単収の推移

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
285	345	267	296	305	329	294	308	330

4. 令和5年産麦の気象状況



## 2. 令和5年産麦類検査結果

### (1) 三重県の検査結果

令和6年3月31日現在の検査結果

農林水産省HP

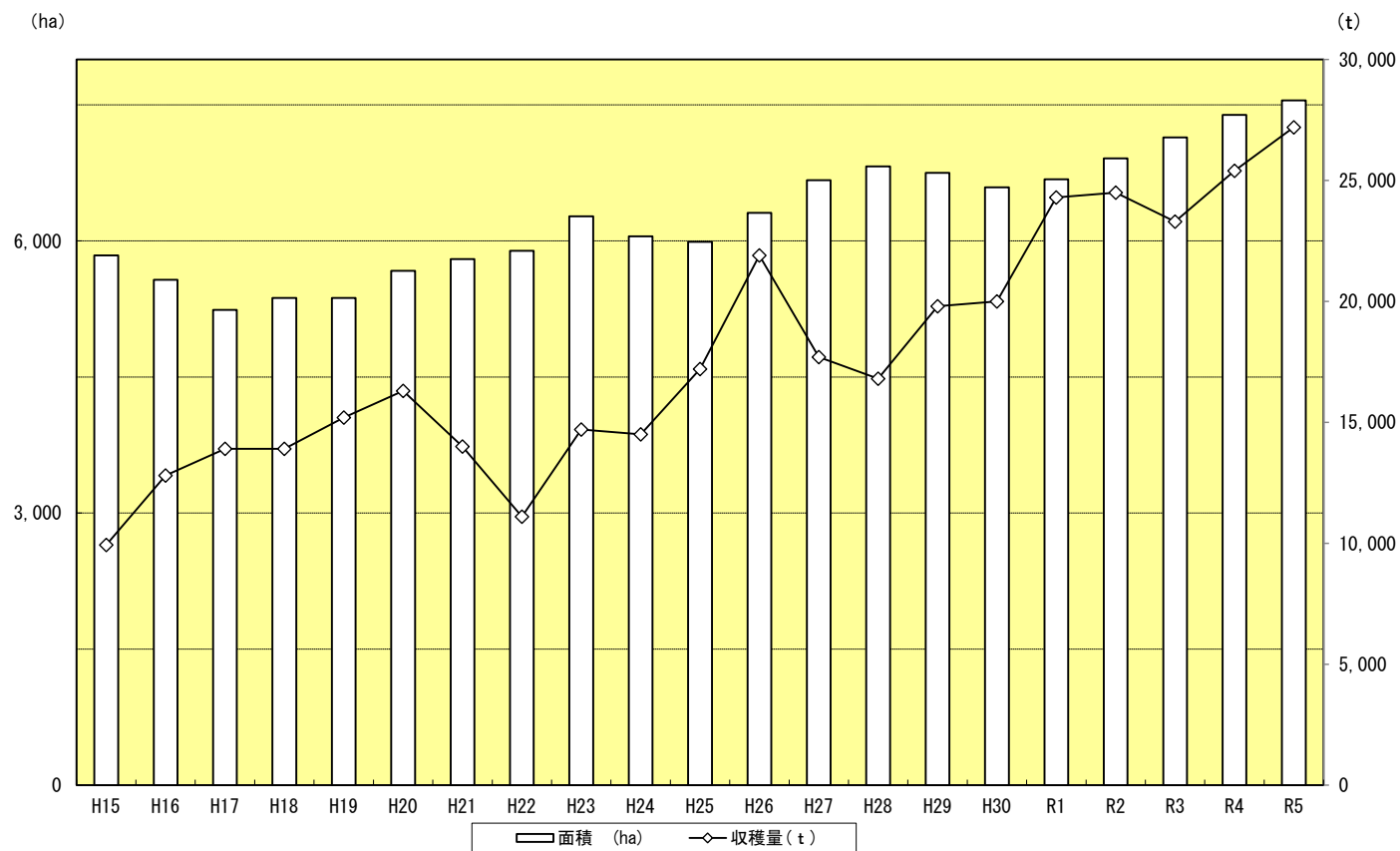
種類・銘柄		等級別検査数量(t)			
種類	銘柄	1等	2等	規格外	総計
普通小麦	あやひかり	17,899	550	1,519	19,968
	タマイズミ	12	858	7	877
	ニシノカオリ	2,800	1,207	381	4,387
	さとのそら	1,390	-	201	1,591
	もち姫	11	-	3	13
	その他	19	44	-	64
普通小麦計		22,131	2,659	2,110	26,901
普通小粒大麦	ファイバースノウ	237	1	48	285
	その他	-	-	-	-
普通小粒大麦計		237	1	48	285
総計		22,368	2,660	2,158	27,186

種類・銘柄		等級別検査割合(%)			
種類	銘柄	1等	2等	規格外	総計
普通小麦	あやひかり	89.6	2.8	7.6	100
	タマイズミ	1.4	97.8	0.8	100
	ニシノカオリ	63.8	27.5	8.7	100
	さとのそら	87.4	-	12.6	100
	もち姫	80.1	-	19.9	100
	その他	30.1	69.0	-	100
普通小麦計		82.3	9.9	7.8	100
普通小粒大麦	ファイバースノウ	83.1	0.3	16.7	100
	その他	-	-	-	-
普通小粒大麦計		83.1	0.3	16.7	100
総計		82.3	9.8	7.9	100

※表中の数値の合計は、ラウンド等の関係により、一致しない場合があります。

### 3. 生産概況

#### (1) 三重県の麦の生産状況推移



4 麦	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収穫量 (t)	9,930	12,800	13,900	13,900	#####	16,300	14,000	11,100	14,700	14,500	17,200	21,900	17,700	16,800	19,800	20,000	24,300	24,500	23,300	25,400	27,200
面積 (ha)	5,840	5,570	5,240	5,370	5,370	5,670	5,800	5,890	6,270	6,050	5,990	6,310	6,670	6,820	6,750	6,590	6,680	6,910	7,140	7,390	7,550
単収(小麦) (kg/10a)	169	229	265	260	282	286	239	188	232	236	285	345	267	246	296	305	364	352	327	345	360

資料：農林水産統計

(2) 三重県における品種導入推移

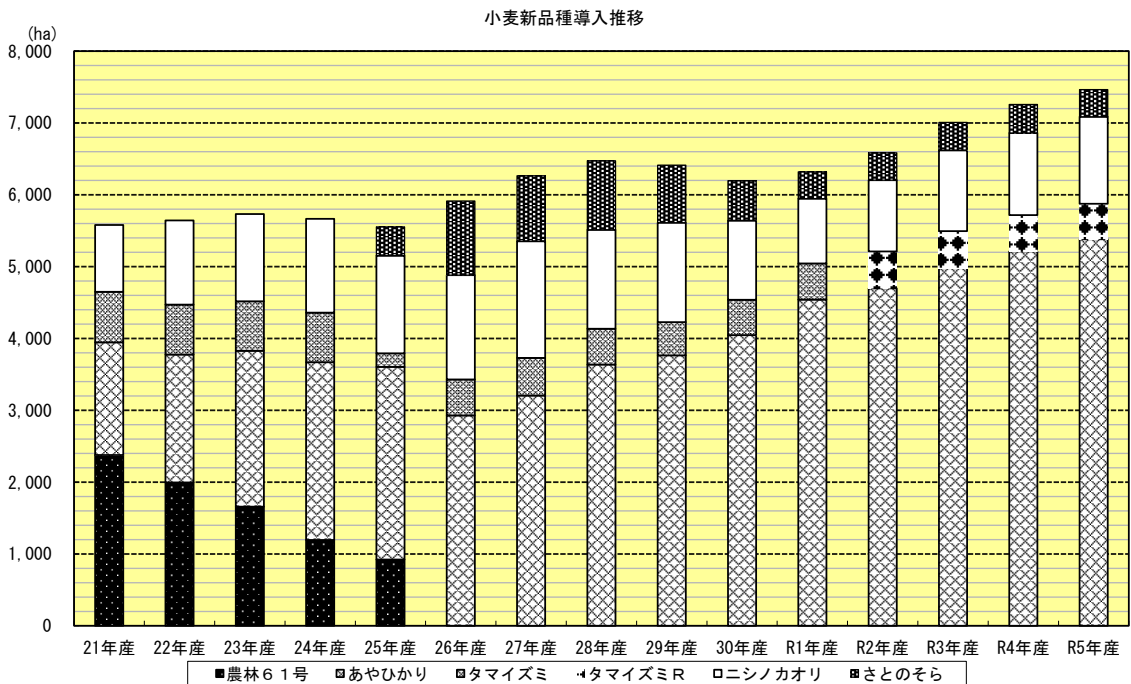
(単位：h a)

	品 種 名	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	R1年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産
小麦	農林61号	2,377	1,995	1,658	1,194	922										
	あやひかり	1,569	1,781	2,170	2,475	2,682	2,928	3,205	3,637	3,765	4,046	4,541	4,697	4,978	5,212	5,381
	タマイズミ	703	695	689	690	189	501	524	498	462	492	503				
	タマイズミR												514	516	505	494
	ニシノカオリ	930	1,172	1,215	1,306	1,359	1,452	1,623	1,377	1,384	1,102	902	992	1,124	1,143	1,211
	さとのそら					400	1,032	912	961	801	556	373	381	389	397	378
	その他			5				6	26	18	34	32				
	小麦合計	5,580	5,643	5,737	5,665	5,552	5,913	6,270	6,499	6,430	6,230	6,351	6,584	7,007	7,257	7,464
大麦	カシマムギ										2	2				
	カシマゴール												1	1		
	ファイバースノウ	212	243	253	267	289	274	294	320	318	308	327	325	127	127	86
	はねうまもち													3	4	
	フクミファイバー													1	1	
	その他	4	7	1	3	3	3	3		2	52					
	大麦合計	216	250	254	270	292	277	297	320	320	360	329	335	132	132	86
	4 麦合計	5,796	5,893	5,991	5,935	5,844	6,190	6,567	6,819	6,750	6,590	6,680	6,910	7,140	7,390	7,550

資料：27年産までは普及団地化調べ、県調べより推計

資料：28年産からは民間流通麦連絡協議会調べの播種面積より推計

小麦のその他は23年産より県調べより推計



## (3) 令和5年産4麦の都道府県別作付面積・収穫量(子実用)

## 4 麦 計

都道府県	作付面積計	田 畑 別		収 穫 量
		田	畑	
		ha	ha	
全 国	295,700	189,100	106,600	1,326,000
北海道	134,100	36,400	97,600	723,400
青森	x	x	x	x
岩手	3,940	3,500	x	8,070
宮城	2,620	2,580	x	10,400
秋田	338	327	11	960
山形	x	x	40	x
福島	519	352	167	1,340
茨城	7,540	4,900	2,640	21,900
栃木	12,800	12,100	x	49,100
群馬	7,560	7,000	x	30,400
埼玉	6,480	5,470	1,020	25,800
千葉	x	548	x	x
東京都	12	-	12	20
神奈川県	x	7	x	x
新潟	329	307	22	974
富山	3,660	3,660	-	13,300
石川	1,890	1,560	x	6,560
福井	5,340	5,330	8	16,700
山梨	118	77	41	329
長野	2,970	2,680	x	8,630
岐阜	3,860	3,860	2	13,200
静岡	x	709	x	x
愛知	6,060	6,000	64	34,800
三重	7,550	7,440	111	27,200
滋賀	8,490	8,460	28	30,400
京都	296	296	0	619
大阪	2	x	x	2
兵庫	2,510	2,510	-	7,260
奈良	128	x	x	407
和歌山	x	5	x	x
鳥取	x	145	x	x
島根	731	x	x	2,430
岡山	3,560	3,530	x	13,800
広島	400	393	7	943
山口	2,120	2,120	4	6,690
徳島	x	x	10	x
香川	3,410	3,370	33	11,700
愛媛	1,880	1,860	21	6,470
高知	12	x	x	33
福岡	22,900	22,900	x	95,300
佐賀	22,100	22,000	x	94,700
長崎	2,080	1,320	x	6,540
熊本	8,280	7,880	398	27,600
大分	5,700	5,590	x	18,800
宮崎	x	x	x	x
鹿児島	408	x	x	831
沖縄	14	-	14	17

## 4. 麦の品質区分と品質評価基準

### 1 麦の品質区分

Aランク	評価項目の基準値を3つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
Bランク	評価項目の基準値を2つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
Cランク	評価項目の基準値を1つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦 評価項目の基準値を2つ以上達成しているものの、許容値を達成していない麦
Dランク	A～Cランクのいずれにも該当しない麦

### 2 麦の品質評価基準

#### (1) 小麦（日本麵の製造用）

評価項目	基準値	許容値
たんぱく (低アミロース品種等)	9.7～11.3%	8.5～12.5% (8.0～13.0%)
灰分	1.60%以下	1.65%以下
容積重	840g/l以上	—
フォーリングナンバー	300以上	200以上

(注) 「低アミロース品種等」は、粘弾性（もちもち感）を高め、製麺適性を向上させた品種であり、最近の品種転換の主流となっているが、従来品種と比べたんぱくが上がりにくい特性をもつ。

#### (2) 小麦（パン又は中華麵の製造用）

評価項目	基準値	許容値
たんぱく	11.5～14.0%	10.0～15.5%
灰分	1.75%以下	1.80%以下
容積重	833g/l以上	—
フォーリングナンバー	300以上	200以上

#### (3) 小麦（醸造用）

評価項目	基準値		許容値
たんぱく	I	11.5%以上 12.0%未満	10.0%以上
	II	12.0%以上 13.5%未満	
	III	13.5%以上	
容積重	760g/l以上		—

(注) たんぱく I は品質評価項目の基準値を1つ達成、たんぱく II は2つ達成、たんぱく III は3つ達成したものとす。

#### (4) 二条大麦（麦茶の製造用以外のもの）

評価項目	基準値	許容値
容積重	709g/l以上	—
細麦率	2.5mm（篩）下に3.0%以下	—
白度	40以上 基準歩留：55%	37以上
正常粒率	80%以上（65%歩留時） 1.8mm（篩）上（砕粒を除く）	70%以上

#### (5) 六条大麦及びはだか麦（麦茶の製造用以外のもの）

評価項目	基準値	許容値
容積重	六条大麦 690g/l以上 はだか麦 840g/l以上	—
細麦率	六条大麦 2.2mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下	—
白度	43以上 基準歩留：六条大麦 55% はだか麦 60%	40以上
硝子率	六条大麦 40%以下 はだか麦 50%以下	50%以下 60%以下

#### (6) 二条大麦、六条大麦及びはだか麦（麦茶の製造用）

評価項目	基準値		許容値
たんぱく	I	7.5%以上 9.0%未満	6.5%以上
	II	9.0%以上 10.5%未満	
	III	10.5%以上	
細麦率	二条大麦 2.2mm（篩）下に2.0%以下 六条大麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下		—

(注) たんぱく I は品質評価項目の基準値を1つ達成、たんぱく II は2つ達成、たんぱく III は3つ達成したものとす。



5. 麦の入札に係る仕組み

項目	令和5年産	令和4年産	令和3～元年	平成30～平成26年産	25～24年産	23年産	22年産	21年産	20年産	19年産	18～17年産	16～13年産	12年産		
実施主体	(社)全国米麦改良協会(平成25年4月から一般社団法人へ移行)														
実施時期	原則として毎年麦の播種前に実施														
回数	2回											1回			
義務上場	販売予定数量が小麦3,000トン以上、大麦及びはだか麦1,000トン以上の産地別銘柄 (ただし、県内流通比率が80%以上の銘柄等を除く)														
	売り手別に上場数量が100トン未満の銘柄は義務上場から除くことができる														
希望上場	売り手が希望する産地別銘柄														
地域区分上場	売り手の希望により、地域区分上場できる														
	地域区分する場合は一地域当たりの販売予定数量は、1,000トン以上														
上場数量	販売予定数量の30～40%			同右(需要拡大枠を除く)		販売予定数量の30%									
	第1回、第2回とも総上場数量の1/2ずつ上場														
	販売予定数量の要件なし														
基準価格	小麦は、前年産の落札加重平均価格に当年産の入札実施時点での輸入麦の政府売り渡し価格の変動率を乗じた価格、大麦・はだか麦は、前年産の産地別銘柄別の指標価格				前年産の産地別銘柄別の指標価格		前年産の産地別銘柄別の指標価格に30%加えた価格を基準価格とする		前年産の産地別銘柄別の指標価格			銘柄区分別の政府売渡価格			
価格制限	基準価格の±10%				小麦:基準価格の±30% 大・はだか麦:±15%		指標価格の±10%		基準価格の±7%			小麦:基準価格の±7% 大・はだか麦: ±5%		基準価格の±5%	
入札枚数	入札実施毎に産地・銘柄別、売り手別に1通														
申込限度数量	上場数量×買い手別シェア ×1.45										小麦:上場数量× 買い手別シェア ×1.45 大・はだか麦:上場数量 ×買い手別シェア × 1.35		買い手別に、 上場数量×買い手別シェア×1.35		
	上場数量は、第1回、第2回毎の上場数量														
	上場数量は、全上場数量														
再入札	落札残数量について、売り手の希望により実施														
指標価格	第1回、第2回、再入札の落札価格を落札数量で加重平均												落札価格を落札数量で加重平均		
入札結果の公表	産地別銘柄別の上場数量、指標価格、申込数量、落札数量、落札残数量及び申込数量倍率を公表														
	当該年産の入札が全て終了したときは、速やかに公表														
	売り手別落札状況等も公表							申込数量倍率等も公表		各回毎の落札加重平均価格をHPで公表		落札決定したときは、速やかに公表			
取引価格の事後調整(小麦のみ)	輸入麦の政府売り渡し価格の改定に合わせて、播種前計画価格に輸入麦の売渡価格の変動率を乗じた価格で取引						仕組みなし								
需要拡大推進枠	国内産麦の商品を高付加価値化させて供給する実需者に安定的に原料供給する仕組み		入札以外の手法で地元企業等へ優先的かつ安定的に原料を供給する仕組み			仕組みなし									

## 6. 令和6年産麦の販売予定数量及び購入希望数量

### (1) 三重県産

(単位：トン)

麦種	銘柄	民間流通麦 販売予定数量①	購入希望数量②	① - ②
小麦	あやひかり	16,283	13,600	2,683
	タマイズミ	1,130	100	1,030
	ニシノカオリ	3,386	4,180	▲ 794
	さとのそら	1,112	1,850	▲ 738
	計	21,911	19,730	2,181
大麦	ファイバースノウ	217	442	▲ 225
	その他	1	1	0
	計	218	443	▲ 225

三重県産麦民間流通地方連絡協議会資料より  
四捨五入の関係で内訳と計が合わない場合がある

## 7. 令和6年産民間流通麦の入札結果

### 小麦

(単位：円、トン)

産地	銘柄	地域区分	基準価格 (1)	指標価格 (加重平均) (2)	(参考) 対比 (2)÷(1)	上場数量 (3)	申込数量 (4)	落札数量	申込倍率 (4)÷(3)
北海道	春よ恋	全地区	91,042	81,946	90.0%	13,510	5,000	5,000	0.4
北海道	きたほなみ	全地区	66,669	65,732	98.6%	135,450	174,880	134,560	1.3
北海道	ゆめちから	全地区	67,801	66,892	98.7%	32,340	46,580	31,050	1.4
北海道	はるきらり	全地区	78,279	64,783	82.8%	2,180	1,450	1,450	0.7
岩手	ゆきちから	全地区	57,914	63,705	110.0%	1,250	2,870	1,250	2.3
宮城	夏黄金	全地区	70,063	77,069	110.0%	600	1,200	600	2.0
茨城	さとのそら	全地区	67,891	65,639	96.7%	3,690	3,900	3,170	1.1
群馬	つるぴかり	全地区	79,456	84,673	106.6%	1,250	3,620	1,250	2.9
群馬	さとのそら	全地区	71,480	68,660	96.1%	4,740	7,110	4,600	1.5
埼玉	あやひかり	全地区	74,289	74,290	100.0%	1,790	2,400	1,790	1.3
埼玉	さとのそら	全地区	69,574	71,094	102.2%	4,460	6,610	4,460	1.5
岐阜	イワイノダイチ	全地区	66,528	64,879	97.5%	1,290	2,080	1,290	1.6
岐阜	さとのそら	全地区	69,170	65,073	94.1%	1,330	2,090	1,330	1.6
愛知	きぬあかり	全地区	76,604	69,971	91.3%	6,380	3,020	3,020	0.5
愛知	ゆめあかり	全地区	61,366	67,502	110.0%	1,320	2,580	1,320	2.0
滋賀	ふくさやか	全地区	68,490	63,983	93.4%	1,320	1,650	1,320	1.3
滋賀	びわほなみ	全地区	74,664	70,549	94.5%	3,540	3,110	2,470	0.9
香川	さぬきの夢2009	全地区	63,859	57,486	90.0%	2,320	750	750	0.3
福岡	シロガネコムギ	全地区	72,643	69,172	95.2%	6,560	6,580	4,880	1.0
福岡	チクゴイズミ	全地区	69,462	68,203	98.2%	5,700	8,730	5,610	1.5
福岡	ミナミノカオリ	全地区	69,529	62,578	90.0%	2,100	1,400	1,140	0.7
佐賀	シロガネコムギ	全地区	72,509	68,465	94.4%	8,240	9,170	6,420	1.1
佐賀	チクゴイズミ	全地区	67,899	68,656	101.1%	3,880	6,840	3,880	1.8
佐賀	はる風ふわり	全地区	69,521	63,109	90.8%	1,390	2,750	1,390	2.0
大分	チクゴイズミ	全地区	68,121	68,097	100.0%	1,560	1,220	800	0.8
合計			68,338	66,919	97.9%	248,190	307,590	224,800	1.2

(注) 1. 基準価格及び指標価格は、円/トン当たりの価格で、消費税（地方消費税を含む）相当額を抜いた額である。

2. 建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。

0

3. 基準価格及び指標価格の「合計」欄は、本年産の産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。

4. 小麦の基準価格は、前年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(1.073)を乗じた価格である。

## 8. 令和5年度三重県麦作共励会

開催趣旨 : 水田農業構造改革の一環として、麦作の振興を図るため、三重県麦作共励会を開催し、生産技術並びに経営改善と品質の面から、先進的で他の範となる麦作農家及び麦作集団を表彰し、その業績を広く紹介するものとする。

県共励会参加 : 2点

県共励会審査会 : 令和5年9月5日

### 令和5年度 三重県麦作共励会 受賞者

受賞名	麦作集団又は農家名	市町	品種
三重県知事賞	株式会社忠三郎農園	四日市市	あやひかり
農業会議会長賞	西村農園	鈴鹿市	ニシノカオリ

## 9. 県内の各品種の特徴

### 日本めん用品種

**さとのそら** : 農林61号から切替

- 「農林61号」より1日程度早熟で、褐色穂、褐色粒
- 「農林61号」より稈長は短く、耐倒伏性は強い
- コムギ縞萎縮病に強い

**あやひかり** : 多収品種で粉の色相が良好

- 「農林61号」より1日程度早熟で、白色穂、褐色粒
- 「農林61号」より稈長は短く、耐倒伏性は強い
- コムギ縞萎縮病に強い
- アミロース含量が低く、麺の食感が向上

### パン・中華めん用品種

**タマイズミR** : 準硬質品種で製粉特性、色相が良好

- 「農林61号」より2日程度早熟で、褐色穂、黄色粒
- 「農林61号」より稈長は短く、耐倒伏性は強い
- コムギ縞萎縮病に強い
- たんぱく質含量が高く、容積重も高い

**ニシノカオリ** : 準硬質品種で安定した高タンパク含量

- 「農林61号」より2日程度早熟で、白色穂、褐色粒
- 「農林61号」より稈長は短く、耐倒伏性は強い
- コムギ縞萎縮病に強い
- たんぱく質含量が高く、容積重高いが、やや収量が劣る

### 新品種導入にかかるポイント

- ☆ コムギ縞萎縮病抵抗性品種・・・あやひかり、ニシノカオリ  
さとのそら、タマイズミR
- ☆ 湿害に対してやや強い品種・・・ニシノカオリ
- ☆ 黒ボク土壌、畑土壌で高品質・・・タマイズミ、ニシノカオリ
- ☆ 多収性、耐倒伏性の品種・・・あやひかり、タマイズミR
- ☆ 準硬質品種は、穂揃期追肥など晩期追肥が必要です。

### 県内産小麦を使用した製品開発、商品化

- ★あやひかり
  - ・伊勢うどんをはじめとした、ゆで麺、冷凍麺、乾麺
  - ・カステラ、バウムクーヘンなどの洋菓子
- ★さとのそら
  - ・うどん、そばなどの日本麺のゆで麺、冷凍麺、乾麺
- ★ニシノカオリ
  - ・学校給食やベーカリーのパン、醤油
  - ・ラーメン
- ★タマイズミR
  - ・パン、中華麺